

腎生検

患者さま用

患者さまID：
患者さま氏名：

主治医：

担当医：

受け持ち看護師：

項目	月日	入院	検査前日	検査当日(検査前)	検査当日(検査後)	検査後(1日目)	検査後(2日目～)	退院
達成目標		入院生活、治療方針について理解できる	検査の方法、目的について理解できる	検査に向けて準備することができる	腎生検後の安静を保つ事ができる 腹痛や尿の変化があれば伝える事ができる	腎生検後の安静を保つ事ができる 腹痛や尿の変化があれば伝える事ができる	腹痛や尿の変化があれば伝える事ができる	出血・感染兆候を認めない
治療 薬剤 処置		家で内服していた内服薬を確認します(抗血小板薬・抗凝固薬などが中止されているか)		検査開始前に点滴をはじめます。検査後異常なく経過した場合、点滴終了後針だけ残します。 	止血のために針を刺した部位の上から500gの砂袋を固定します。 血栓予防のために間欠的空気圧迫装置という機械を装着します。	安静解除になれば間欠的空気圧迫装置を取ります。 穿刺部の消毒をします 点滴の針を抜きます		
検査		採血・採尿・レントゲン・心電図の検査があります	検査直前より心電図を取り付けます	検査直前より心電図を取り付けます	止血確認のために検査終了約6時間後に腹部エコーを行います。問題なければ心電図は終了します。	採血があります。安静解除前に腹部エコーを行います	検査後3～4日目に採血、尿検査があります。	
活動・安静度		特に制限はありません	検査用の服に着替えます。寝衣を前後逆に着てください。病棟の個室に移動します	検査後は仰向けの状態です。検査後6時間経過したらエコーをします。異常なければ左横向き30度、右足を曲げる事までできます(または検査の部位により右横向き30度、左足を曲げる事までできます)。自分で向くことはできません。向きたい時は看護師に声をかけてください。	 近くのトイレまでは歩行可能です	特に制限はありません	退院後は1か月は重いものを持つなど腰に負担のかかる動きは避けてお過ごしください	
食事		食事の内容が治療食の場合があります	検査後に使う、ストローやスプーンなどの準備をしてください	検査直前の食事は絶食です。水分は飲めます。薬は医師の指示に従ってください。 	食事はおにぎり食に変更します。食事は寝たまま食べます	朝食より座って食べることができます		
清潔		入浴できます	入浴はできません	入浴はできません	お身体を拭きます	針を刺した部位防水テープを貼りシャワー浴ができます。		
排泄		検査後の安静期間中に排便がないように便秘の方は下剤を内服します	朝、排便が無ければ浣腸をします 検査前に尿を出すための管が入ります		尿を出す管を抜きます 排尿時に血尿があればすぐに伝えてください			
患者さま及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導		入院時オリエンテーションがあります	腎生検は腎臓に直接針を刺して組織を取る検査です。局所麻酔を使い痛みを最小限にし、基本的に数回針を刺します。合併症として出血と感染があります。出血予防のため検査後は24時間ベッド上安静の状態になります	検査中はうつぶせで安静にして下さい。訴えがある際には、動かずに声をかけてお伝えください。検査後は仰向けで絶対安静に過ごして下さい。	出血兆候の腰痛や腹痛、気分が悪くなった場合はすぐに知らせてください。24時間安静のため、腰痛を伴うことが多いですが検査翌日まで安静にご協力ください。痛みに対して、お薬も用意していますので看護師に声をかけ	朝食後より止血剤(アトナ)の内服が始まります。3日間で終了となります。		生検結果の説明は基本的に外来にて医師より行います

説明者サイン

2015/5/6作成